

第3学年3組 国語科学習指導案

平成29年9月14日(火) 2校時

指導者

1 単元名 書く人の工夫が分かる「ほけんだより」を作ろう

(教材名 『ほけんだより』を読みくらべよう 東京書籍3年上)

2 単元の目標

○2つの「ほけんだより」を読み比べ、進んで事柄の取り上げ方や説明の仕方の工夫を見つけようとする。 【国語への関心・意欲・態度】

○事柄の取り上げ方や説明の仕方に注目して、書き手の工夫を読み取ることができる。 【読む能力】

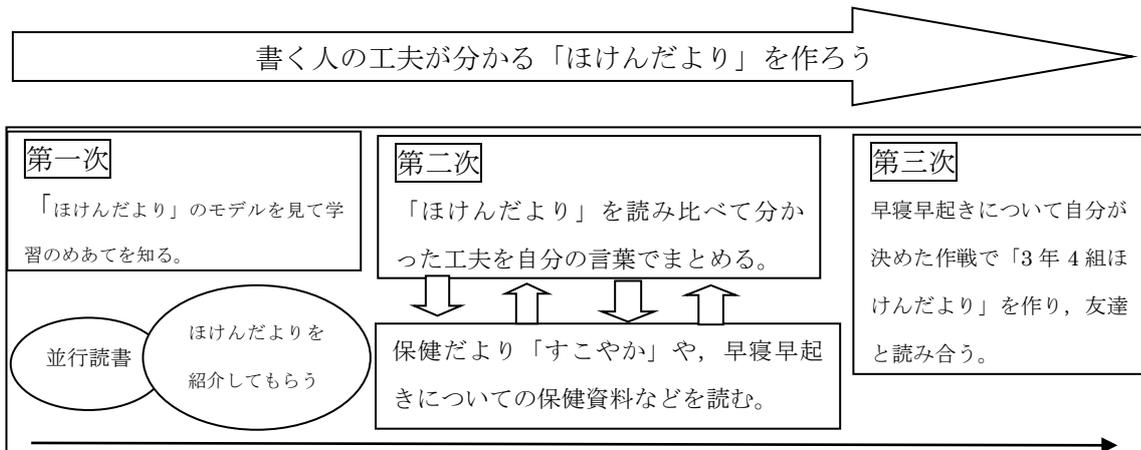
○伝えたいことを明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 【書く能力】

○語句の役割や語句相互の関係に気をつけて、文の構成について理解することができる。 【言語についての知識・理解・技能】

3 単元の評価規準と評価方法

	国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
評価規準	2つの文章を読み比べ、進んで事柄の取り上げ方や説明の仕方の違いを見つけようとしている。	伝えたいことを説明するために、資料や文章を関連づけて理由や事例を挙げて書いている。	2つの文章を読み比べることで、事柄の取り上げ方や説明の仕方に注目して、書き手の工夫を読み取っている。	文脈に沿って、指示語や接続語の役割や文相互の関係に注意して、文の構成について理解している。

4 単元構想



## 5 基盤

### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領国語科第3学年及び第4学年の内容において、

#### 「B 書くこと」

- (1) イ「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。
- (2) ウ「収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。」

#### 「C 読むこと」

- (1) イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」

#### 言語活動

- (2) ウ「記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。」  
オ「必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。」

に対応している。本単元では、二つの「ほけんだより」を読み比べ、表現の意図に応じた筆者の表現の工夫を読み取る力をつけることをねらいとしている。教材文「ほけんだより」を読みくらべようは、段落のまとまりがはっきりしており、書き手の意図（養護教諭がほけんだよりを書いた背景）、説明（取り上げる事柄の違い・表現の違い）、まとめ（朝ごはんを食べよう）というように文章の全体構成が「始め・中・終わり」と三部構成になっている。読み比べる二つの文章は、「朝ごはんをしっかりと食べてほしい」という同じ目的で書かれている。「はじめ」と「おわり」を同じ文にすることで、書き手の目的に気づきやすくしている。一つ目の文章は、朝ごはんを食べる効果を科学的に説明したうえで、読み手の納得を得ようとする表現の意図が読み取れる。二つ目の文章は、朝ごはんと体調不良の関係のデータをもとに説明している文章であり、朝ごはんを食べないことのデメリットについて説明している。どちらも、「朝ごはんをしっかりと食べてほしい」という書き手の伝えたいメッセージは同じだが、それぞれ違う展開をしている。そのため、それぞれの図表の内容や「みなさんへのアドバイス」の中身も、取り上げている事柄に関連したものになることにも気づかせたい。また、図表を用いることで、「中」で伝えたい内容をより効果的に伝えることができることにも気づかせたい。養護教諭という具体的な書き手を想定することで、書き手の意図や表現の工夫を読み取り、その効果について考えることができる。また、学校で配布されるさまざまな便りを、書き手の伝えたいことを考えながら読む、という実生活への活用へと発展させることができる。と考える。

さらに、本単元は、単元を貫く言語活動を位置づけ、「読むこと」「書くこと」との領域を組み合わせた複合的単元により、両方の指導事項をより効果的に指導できる。第3次の言語活動に必要な読むこと的能力を第二次で教材文をもとに学習し、その読み取ったことを生かして、文章の構成から推敲までを行うことで、書くこと的能力も育てることができると考える。

(2) 児童観

省略

(3) 指導観

○本単元を貫く言語活動→「ほけんだより作りをしよう」

○単元を通して身につけさせたい力→事柄の取り上げ方や、説明の仕方の工夫を読み取る力

研究仮説（2）言語活動に必要な能力を育てる学習過程の工夫について

② 言語能力を明らかにしてつきたい力を直結させる

第三次で「3年3組ほけんだより」を作成するときに必要な事柄の取り上げ方や説明の仕方を学ぶために、第2次では、教材文『「ほけんだより」をよみくらべよう』を使って学習する。教材文では、書き手の伝えたいことは同じでも、その伝えたいことの取り上げ方や説明の仕方が違うことを読み取る。第二次で2つの文章について読み取る学習のときに、ワークシートを使って学習する。ワークシートには、両方のほけんだよりを掲載し、2つの文章を比べながら考えることができるようにする。また、見つけたことをワークシートに直接書き込むことができるように余白を多めに取っておく。第2次5時（本時）は、そのワークシートを参考にして、自分が「3年3組ほけんだより」を書くなら、どちらの作戦で書きたいのか、その理由を考えて書く。理由を考える際に、前時までに学習したワークシートが手元にあることで、児童は作戦を決めたり、理由を考えたりするときの手がかりにすることができ、読むこと的能力をさらに深めることにつながると考える。

③ 並行読書を生かす

第3次の言語活動で、児童が作戦に合わせた資料の選定ができるように、保健資料を教室にコーナーとして設置する。養護教諭や学校司書教諭と共に、3年生の発達段階に合わせた保健資料の収集を行った。テーマは、児童の日常生活に関することで、知っておく必要があるテーマ：早寝・早起きに絞り込んだ。第1次の導入から第2次まで、並行読書を学習の終末に取り入れる。1時間ごとの学習のねらいで学んだことをもとに、児童が「保健だより」や保健資料を読むことで、第3次の自分が作りたい「3年3組ほけんだより」のイメージを持つことにつながると考える。

研究仮説（3）主体的に取り組む学習過程の工夫について

① 単元の導入時の工夫

これまで、おすすすめカード（物語文）、リーフレット（説明文）などの書くことを中心とした言語活動を行ってきた。今回の単元でも、書く活動を取り入れた「ほけんだより作り」を言語活動として行う。児童が意欲的に学習に取り組めるために、これまで発行されてきた「すこやか」を提示し、担任がオリジナルで作成した「3年3組ほけんだより～メディア編～」を提示する。児童が作成するほけんだよりは、B4サイズにし、文章だけでなく、文章に合わせた

図表・絵・写真なども利用して書くことも知らせることで、児童は「3年3組ほけんだより」作りに向けて、意欲を高めていけると考える。また、自分が学習したことが家族に向けて、早寝早起きをしようと呼びかけることにつながり、目的意識と相手意識が明確で主体的な学びになると考える。

## ② 学習形態の工夫

第2次5時（本時）では、どちらの作戦で「3年3組ほけんだより」を書きたいのか決める。さらに、なぜその作戦を選んだのか、グループ内で、一人ひとりが伝えることで、ほけんだよりを書いた大森先生の取り上げ方や説明の仕方の違いについて、お互いの理解が深まると考える。

本時は、第2次4時まで学習したことを掲示物を見ながら振り返り、それぞれの違いを確認する。次に、どちらの作戦で自分は「3年3組ほけんだより」を書こうと思うか、その理由も考えてノートに書く。理由を考える時に困っている児童には、板書や掲示物を見ながら考えるよう助言したり、ワークシートのキーワードに線を引かせたりする。その後、グループで自分の意見を伝え合う。話し合いがスムーズに行えるよう、事前にグルーピングを配慮する。全体の話し合いで、友達の考えを聞いたことで、自分の決めた作戦を変えたいと考える児童も出てくると思われる。その場合は、変更したいと思った理由をノートに書き留めておくよう伝える。そして、次時の学習への見通しを話し、意欲をつなげたい。

## 6 単元の指導計画と評価計画（全9時間）

次	時	本時のねらい	学習活動	並行読書	評価（☆）＜方法＞
第1次 （1時間） 単元のねらいを知り、学習の見通しを持つ。	1	・おたよりに興味を持ち、「3年3組のほけんだより」を作ろうという意欲を持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「3年3組のほけんだより」にして家族に伝えることを知る。</li> <li>・学習のねらいを知る。</li> <li>○伝えたいことを上手く伝えるための工夫を学習するために「ほけんだより」を読み比べることを知る。</li> <li>・書き手は、目的を持って表現を工夫しながら書いていることを知る。</li> <li>・二つの文章を読み比べる時の観点を理解する。</li> <li>・「すこやか」や保健資料を読む。</li> </ul>	「すこやか」・保健資料	<p>【関】「3年3組のほけんだより」に家族に向けて作成することに関心を持ち、「すこやか」・保健資料などを読もうとしている。＜観察＞</p> <p>【読】2つの「ほけんだより」を読み比べるときの観点を理解している。＜発言・ノート＞</p>
第2次 （4時間） 2つの文章の共通点や書かれている事柄、説明の仕方を理解し、書	2	・2つの文章に共通するところを確かめ、書き手が伝えたいことを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二つの文章に共通することを確認し、書き手が伝えたいことを読み取る。</li> <li>・教科書の二つの文章を音読する。</li> <li>・6段落構成・「はじめ」「中」「おわり」の組み立てに気づく。</li> </ul>		<p>【読】二つの文章の共通しているところを手掛かりにして、書き手の伝えたいことを理解している。＜発言・ワークシート＞</p> <p>【言語】文脈に沿って、指示語や接続語の役割や文相互の</p>

書き手の工夫を読み取る。			<ul style="list-style-type: none"> <li>共通している書き手の伝えたいことを短くまとめる。</li> </ul>	関係に注意して、文章全体の組み立てを理解している。 <発言・ワークシート>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つ目の文章を読み、書かれている事柄や説明の仕方の違いから、書き手の工夫を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1つ目の文章を読み、書かれている事柄や説明の仕方を見つけ、話し合う。</li> <li>・1つ目の文章を音読する。</li> <li>・「中」の部分で、気づいたことを話し合う。(事柄・説明の仕方・工夫)</li> <li>・1つ目の文章の表現の意図を考え、作戦に名前をつける。</li> </ul>	【読】繰り返し使われている言葉や図表と文章が対応している部分に着目して読んでいる。<発言・ワークシート>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>2つ目の文章を読み、書かれている事柄や説明の仕方の違いから、書き手の工夫を読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2つの目の文章を読み、書かれている事柄や説明の仕方を読み取る。</li> <li>・2つ目の文章を音読する。</li> <li>・「中」の部分で、気づいたことを話し合う。(事柄・説明の仕方・工夫)</li> <li>・2つ目の文章の表現の意図を考え、作戦に名前をつける。</li> </ul>	【読】繰り返し使われている言葉や図表と文章が対応している部分に着目して読んでいる。<発言・ワークシート>	
	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>どちらの作戦を使って、「3年3組ほけんだより」を作るのか決め、その理由を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦を選んだ理由や自分の考えを書く。</li> <li>・グループで交流する。</li> <li>・学級全体で交流する。</li> </ul>	【読】作戦を選んだ理由に、書き手の工夫を理由に挙げて、その良さを説明している。<ノート・ワークシート・発言>	
第3次 (4時間) おすすめの テーマを選び、「3年4組ほけんだより」を書いて、友達と読み合う。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が決めた作戦で、「3年3組ほけんだより」を作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○早寝早起きについて、「3年3組ほけんだより」を作る。</li> <li>①構成メモを書く。</li> <li>・3段落構成で、「はじめ」と「おわり」は全員共通した文章を書く。</li> <li>・「中」について、自分の伝えたい作戦に合わせたメモを書く。</li> <li>②下書きをする。</li> <li>・説得力のあるほけんだよりにするために、自分に必要な資料を選ぶ。(地図・表・写真など)</li> <li>③推敲する。</li> <li>・同じグループの人と読み合い、アドバイスをし合う。</li> </ul>	自分のテーマに合った保健資料	
	7				【関】伝えたいことを上手く伝えるため、図表、絵などの視覚に訴える資料を活用しようとしている。 <発言・観察>
	8				【書】集めた資料から、作戦に合わせて、より効果的なものを選んでいく。<ノート・3年3組ほけんだより> 【書】伝えたいことを上手く説明するために、文章と図表などの資料と関係付けて説明する文章を書いている。 <3年4組ほけんだより>
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達が書いた3年3組ほけんだよりを読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級で「3年3組ほけんだより～早寝早起き編」を読み合い、感想を交流する。</li> </ul>	【関】友だちが作成した「3年3組ほけんだより」について、興味を持って読んだり、進んで感想を伝えようとしたりしている。<観察・発言>	

7 本時の展開

(1) ねらい

どちらの作戦でほけんだよりを書くのか決め、書き手の工夫を理由に挙げて、その良さを説明することができる。【読む能力】

(2) 展開 (5/9)

時間	学習活動	教師の支援	評価と評価方法
5	1. 本時の学習の流れとめあてを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     どちらの作戦を使って、ほけんだよりを書きたいか決めて、理由をくわしく説明しよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容を確認し、本時のめあへとつなげていく。</li> <li>・自分が「3年3組ほけんだより～早寝早起き～」を書くとき、どちらの作戦で書くのか、書き手の工夫を理由に挙げて、説明することができるよう、板書で明示する。</li> </ul>	<p>【読】作戦を選んだ理由に、書き手の工夫を理由に挙げてその良さを説明している。&lt;ノート・発言・ワークシート&gt;</p>
10	2. 作戦を選んだ理由や考えを書く。 <A (メリット) 作戦> ・Aの作戦は、どんないいことがあるか書いてあるから、早寝早起きを頑張ろうと思うから。 ・Aの作戦で書けば、早寝早起きすると体の中でこんないいことがあると、絵と合わせて書いてあれば、分かりやすいから、 <B (デメリット) 作戦> ・Bの作戦は、早寝早起きをしないとこんな悪いことが起きると書くから、早寝早起きをしないといけない気持ちになるから。 ・Bの作戦は、体の調子が良くない人と早寝早起きができない人の人数を調べて表にすると、早寝早起きをしないといけないことがよく分かるから。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由を書くときの参考になるよう今まで学習してきたことを掲示しておく。また、自分のワークシートに記入していることも参考にするよう伝える。</li> <li>・理由が書けずに困っている児童には、どちらの作戦で書きたいと思うか尋ね、その作戦のどこが良いと考えたのか、聞きながら引きだして文章にする。</li> </ul>	
5	3. 作戦を選んだ理由をグループで交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流するときには、自分は、どの作戦で書きたいと思ったのか理由や自分の考えを添えて発言するよう伝える。また、友達の意見を聞いて、質問したいことや意見などあれば、してもよいことを伝える。</li> </ul>	
15	4. 作戦を選んだ理由について、学級全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き手の工夫と関連させながら全体で交流できるようにする。</li> </ul>	
10	5. 学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えを聞いて、自分はどの作戦にするかあらためて書く。選んだ作戦を変更したい人は、変更する理由を書くことを伝える。</li> <li>・次時から「3年4組ほけんだより」を作成することを知らせ、意欲をもてるようにする。</li> </ul>	

(3) 本時の評価

十分満足できる姿	おおむね満足できる姿	支援を必要とする児童への指導の手立て
・ 作戦を選んだ理由に、読み手の立場で考えたことや書き手の工夫を理由に挙げてその良さを説明している。	・ 作戦を選んだ理由に、書き手の工夫を理由に挙げてその良さを説明している。	・ 2つの文章の違いや書き手の工夫に気づけるように掲示物や板書を注目するよう助言する。 ・ グループの交流で自分の考えが言えるよう、考える時間に、指導者がキーワードをワークシートに線を引く。また、友達の考えを聞いて、自分が納得した理由があれば、ノートにメモしてもよいことを助言する。

(4) 研究の視点

その作戦を選んだ理由について、ワークシートに書いてある書き手の工夫を手がかりにしたことは、書き手の工夫を説明することに有効であったか。